

特別支援学級（自閉症・情緒障害）

自閉的傾向、情緒不安定など社会的適応が不十分な子どもたちを対象に設置しています。この子どもたちは、対人関係をうまく保てない、言語の発達が遅れている、独り言や同じことばを繰り返す、特別な事物にこだわる、環境の変化への対応ができてにくいなどの面が見られ、一人一人その特性はかなり違ってきます。

この学級では、一日の生活の流れを理解し、学習の手順や方法を身につけ、学習に参加できるようにしています。そして、少しずつ集団の中で活動できるように指導しています。同時に、学習や行事などで通常の学級との交流も進めています。

また、教室環境についても、活動の見通しを持ち、集中して学習に取り組めるよう、スケジュールを視覚的に表示したり、教室内のレイアウトを工夫したりしています。

1 指導方針

自閉症や情緒障害のある子どもには、人とのふれあいが大切であることから、学習の様々な活動を通して、人とのかかわりがもてるような手だてを考えていきます。

2 指導内容

(1) 教科の学習

通常の学級と同じ学習内容について、一人一人の特性に応じて教材や教具を工夫し、小集団で指導しています。子どもの理解の程度や状態に応じて、通常の学級で学習することもあります。

(2) 自立活動

状況の理解、情緒の安定、人間関係の形成など、自閉症や情緒障害に伴って学習や生活において困難となっていることについて、改善・克服しようとする教育活動です。

(3) 各教科等を合わせた指導

子どもの特性に応じて、知的障害学級と同様に、教科等を合わせた指導を行う場合があります。

(4) 交流及び共同学習

子どもの実態に応じて、特別支援学級で学ぶ時間以外は、通常の学級で交流及び共同学習を行います。中学校卒業後に高等学校に進学する子どもも多いことから、一定の限度はありますが、学年の進行に伴って、交流の時間や機会を増やしていくことが望まれます。